

【全年次】

しっかり「学校行事」に参加しよう ～向友祭(文化祭)準備および当日・遠足～

「学校行事は授業ではないので出席しない」「出席しても意味がない」。そのような考えを持っている生徒がいるようです。

(1) 欠席が増える

授業の欠時は増えませんが、学校の欠席日数が増えます。進学先の学校や就職先の企業の考え方によって差はありますが、休まないほうが進路の選択肢が増えることにつながります。就職活動等で「通常では説明がつかないほど欠席が多い」との理由で不採用となったと考えられるケースもあります。

増えた欠席日数はリセットすることはできません。今すぐ、誤った考えによって無駄に休むことをやめましょう。

(2) 面接で何も話ができない

「文化祭でどのような企画を立案したのか」「生徒会・委員会・部活動・ボランティア活動・インターンシップ等」を通じてどのような体験をしたのか」そのような質問を面接で受けることがあります。

ほとんど学校行事に参加していない生徒は話をする事ができません。例えウソをついても、たくさんの高校生を面接している人事の採用担当者や進学先の面接官にウソは見抜かれます。

(3) 経験不足

多くの仕事はチームで行います。つまり、「コミュニケーション能力」や「協調性」などが求められます。気の合った仲間同士だけではなく、「クラス全体」、「委員会」、「行事担当者」で偶然一緒になった生徒と力を合わせて活動することにより、今後、みなさんの就職先の仕事で役に立つ経験につながることもあります。



特に、臨機応変な対応が求められる職業や企画立案に携わるような職業の場合、授業やアルバイトでは経験できないことを学校行事で学んでほしいと考えています。例えば「文化祭がつまらない」と思う人がいるのならば「面白くするためにはどうするのか」「盛り上げるためにはどうするのか」と考えられるぐらいの人材を社会は求めています。

(4) 「向友祭の準備」「向友祭の当日」「遠足」にしっかり参加しよう

「10月23日（水）～25日（金）の向友祭準備期間」および「10月26日（土）～27日（日）の向友祭当日」、さらに「11月1日（金）の遠足」にはしっかり参加をしましょう。

【全年次】

後期の授業が始まりました

～前期成績等が記載されている通知表をみて「振り返り」をしましょう～

(5) 成績の確認と評定平均値の計算

各科目の前期の評定が観点別評価とともに記載されているので、しっかりと確認をしましょう。とくに、評定で「1」や「2」の生徒、観点別評価で「C」がついている生徒の皆さんは前期の学習への取組を振り返り、改善する必要があります。

また、進学時や奨学金申請時に一定水準以上の「評定平均値」を求められる場合があります。まずは前期通知表に記載されている評定で評定平均値を求めてみましょう。

評定平均値の計算もしてみましょう。評定平均の計算は次のように行います。

[令和元年度前期のみ]

「すべての科目の評定を足し合わせる」÷「足し合わせた科目数」＝評定平均値

[在籍期間すべて]

「これまでのすべての科目の評定を足し合わせる」÷「足し合わせた科目数」＝評定平均値

(6) 欠席日数の確認

(1) でも記述していますが、欠席日数も進路決定に大きく影響します。しかし、休みすぎてしまっても決して悲観せず、「前期は休みすぎたけれど、後期は休まない」と考えるようにし、前向きに取り組んでみましょう。

「ふりがな」つきは裏面へ